

2011年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2011年8月30日

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

目次

- 2011年12月期第2四半期 連結決算概要
- 売上構成
- 2011年12月期 連結業績見通し
- 今後の戦略
- 株主還元(配当政策について)

添付資料

2011年12月期第2四半期決算短信

会社案内

季刊情報誌(カムトフォーラム)

当四半期の連結業績等に関する定性的情報

- 当社は、2010年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、2011年12月期第2四半期と2010年12月期第2四半期とは対応する期間が異なるため、前年同四半期との比較については増減のみ記載しております。
-

□ 2011年12月期第2四半期連結決算概要

- 前半は、東日本大震災の直接被害及び
サプライチェーン寸断による国内経済停滞の影響
を被る
 - 後半は、生産活動の早期再開と
東アジア地域の堅調な需要に支えられる
 - 当第2四半期業績は、当初計画を若干上回り達成
-

【1】2011年12月期第2四半期連結決算(PL)

(単位:百万円)

	【2010/9】	【2011/6】	【増減(参考)】
売 上 高	1, 607	1, 450	△156
売 上 総 利 益	861	752	△108
売 上 総 利 益 率	53.6%	51.9%	
営 業 利 益	408	317	△90
営 業 利 益 率	25.4%	21.9%	
経 常 利 益	394	321	△73
経 常 利 益 率	24.6%	22.1%	
税 金 等 調 整 前	392	298	△94
税 前 利 益 率	24.4%	20.6%	
当 期 純 利 益	226	187	△38
純 利 益 率	14.1%	12.9%	

※2010年12月期は決算期変更により2010年4月～9月が第2四半期累計期間となります。

【2】2011年12月期第2四半期連結決算(BS)

(単位:百万円)

	【2010/12】	【2011/6】	【増減】	備考
流 動 資 産	1, 834	1, 758	△76	受取手形及び売掛金の減少 75百万円 現金及び預金の減少 23百万円 原材料の増加 22百万円
有 形 無 形 固 定 資 産	1, 965	1, 975	9	
投資その他資産	281	258	△22	
流 動 負 債	801	685	△115	1年内返済予定長期借入金の減少48百万円 流動負債その他の減少 96百万円
固 定 負 債	424	310	△114	長期借入金の減少 123百万円
負 債 合 計	1, 226	996	△229	
純 資 産 合 計	2, 855	2, 996	140	利益剰余金の増加 163百万円
総 資 産 (負債純資産合計)	4, 081	3, 992	△89	

【3】2011年12月期第2四半期連結キャッシュフロー

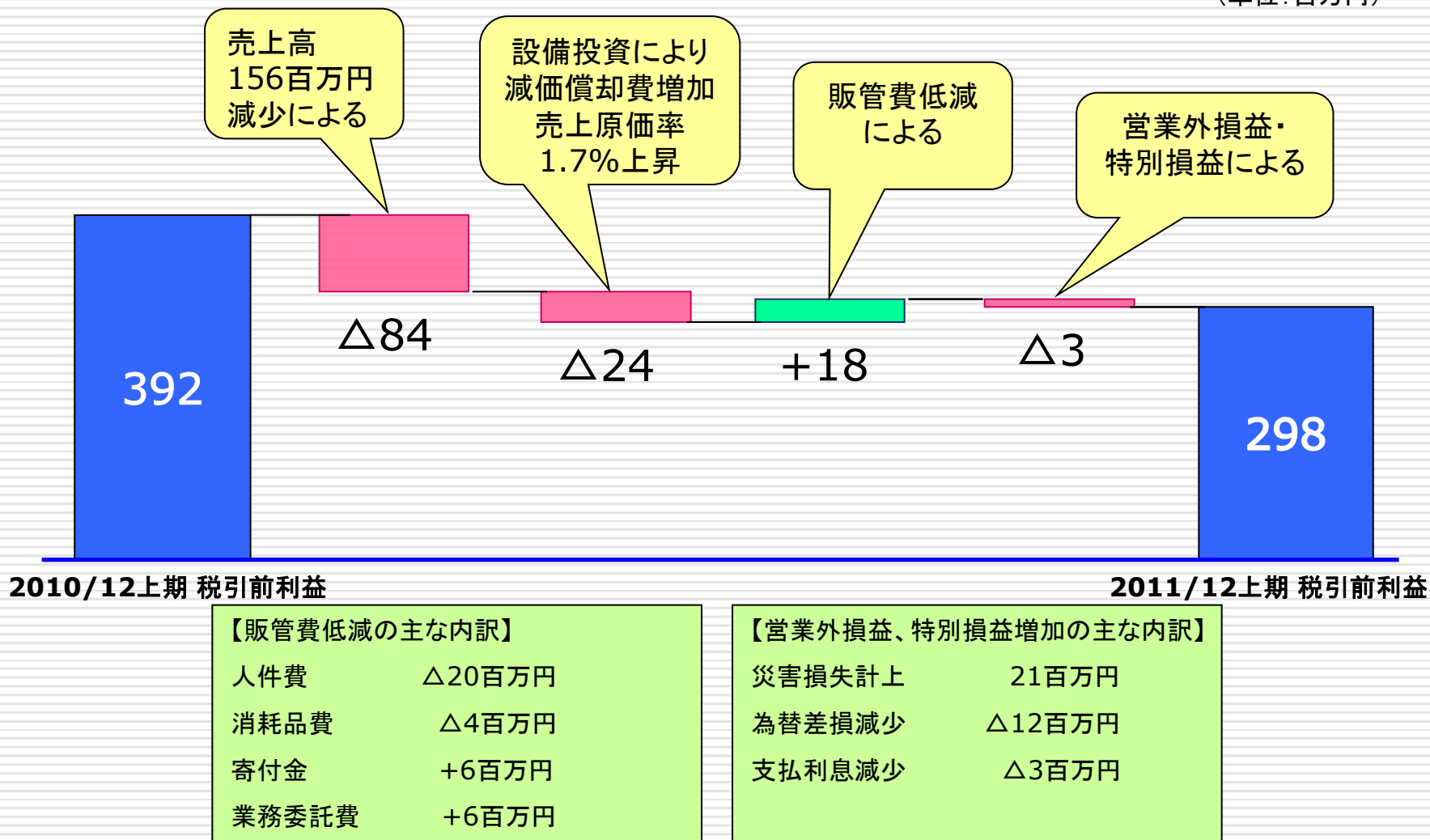
(単位:百万円)

	【2010/9】	【2011/6】	【増減】	備考
営業活動による キャッシュフロー	75	372	296	税引前利益の増加 298百万円 減価償却費の増加 83百万円 売上債権の減少 78百万円 未払い金の減少 △16百万円 法人税等の支払額増加 △133百万円
投資活動による キャッシュフロー	220	△149	△369	定期預金払戻額の増加 40百万円 定期預金預入の増加 △17百万円 有形固定資産取得額の増加 △101百万円 無形固定資産取得額の増加 △74百万円
財務活動による キャッシュフロー	△419	△226	192	長期借入金返済額の増加 △171百万円 自己株式の取得 △30百万円 配当金支払額の増加 △24百万円
現金及び現金同等物の 増減額	△131	△0	△130	
現金及び現金同等物の 期末残高	594	415	△178	
現金及び預金の 期末残高 (B / S)	482	414	△67	

※2010年12月期は決算期変更により2010年4月～9月が第2四半期累計期間となります。

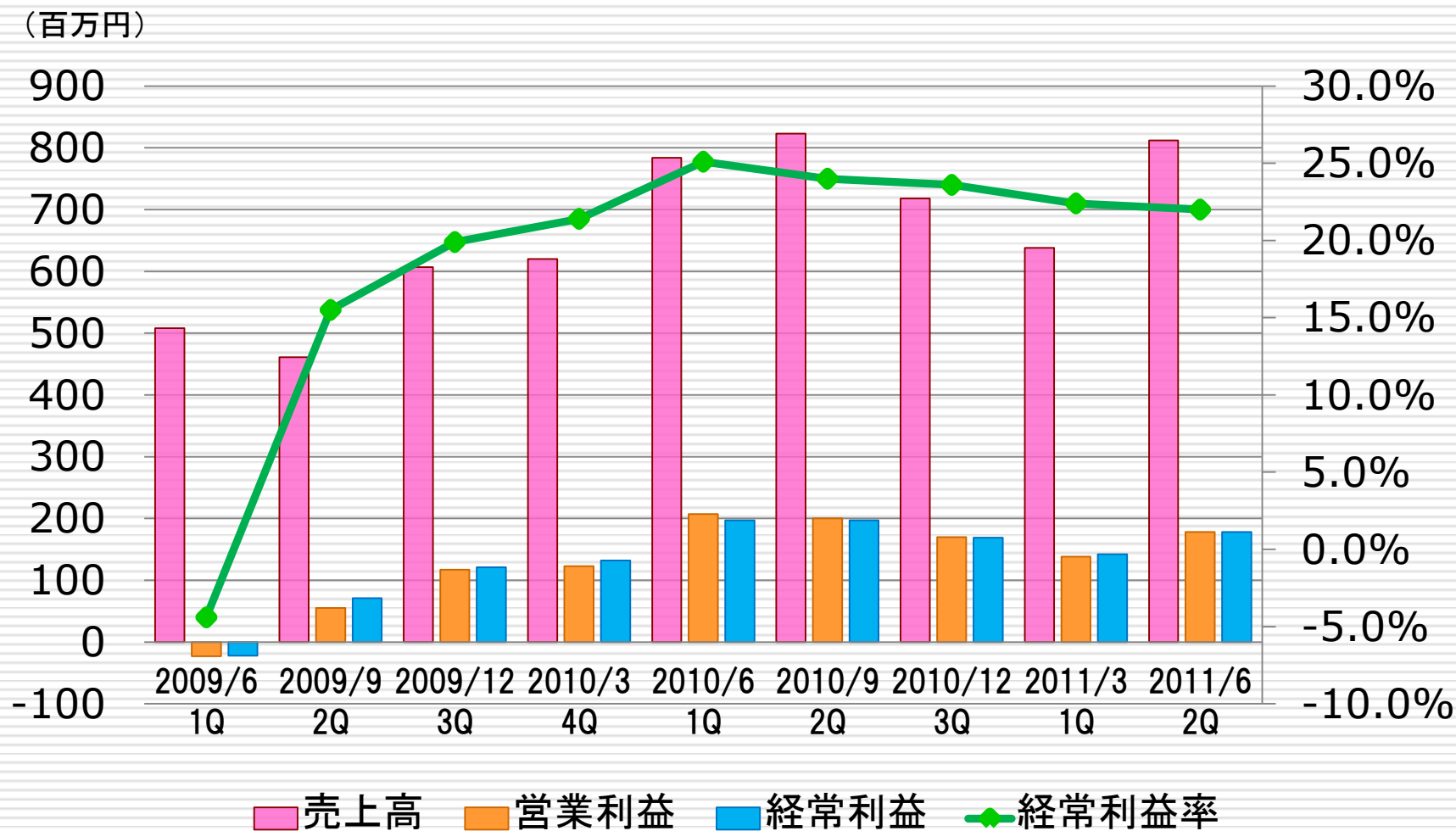
【4】対前年同期利益増減要因

(単位:百万円)



※2010年12月期に決算期変更したことにより、対前年同期は2010年4月～9月との比較になります。

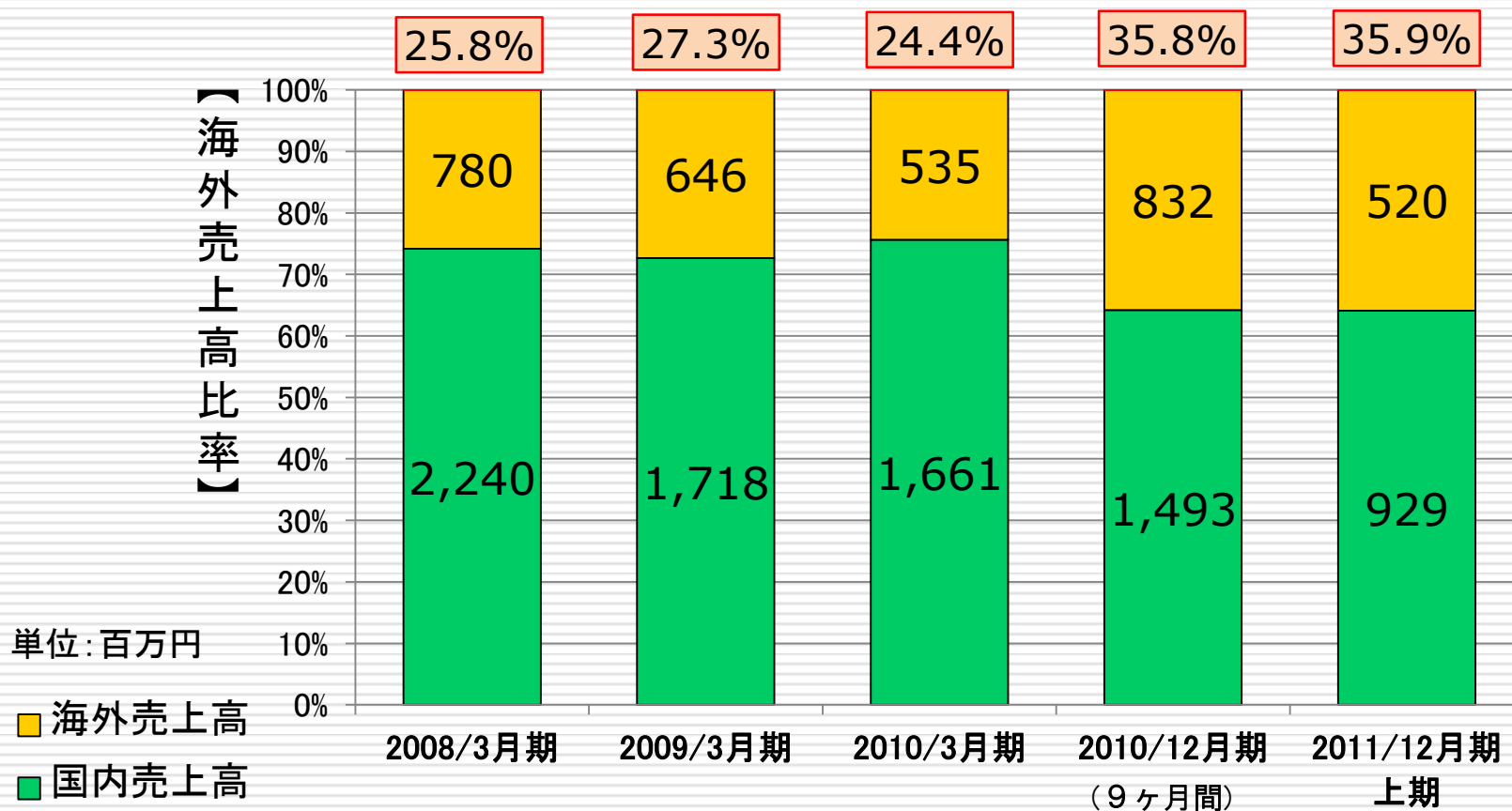
【5】四半期毎連結業績推移



□ 売上構成

【1】海外売上高比率

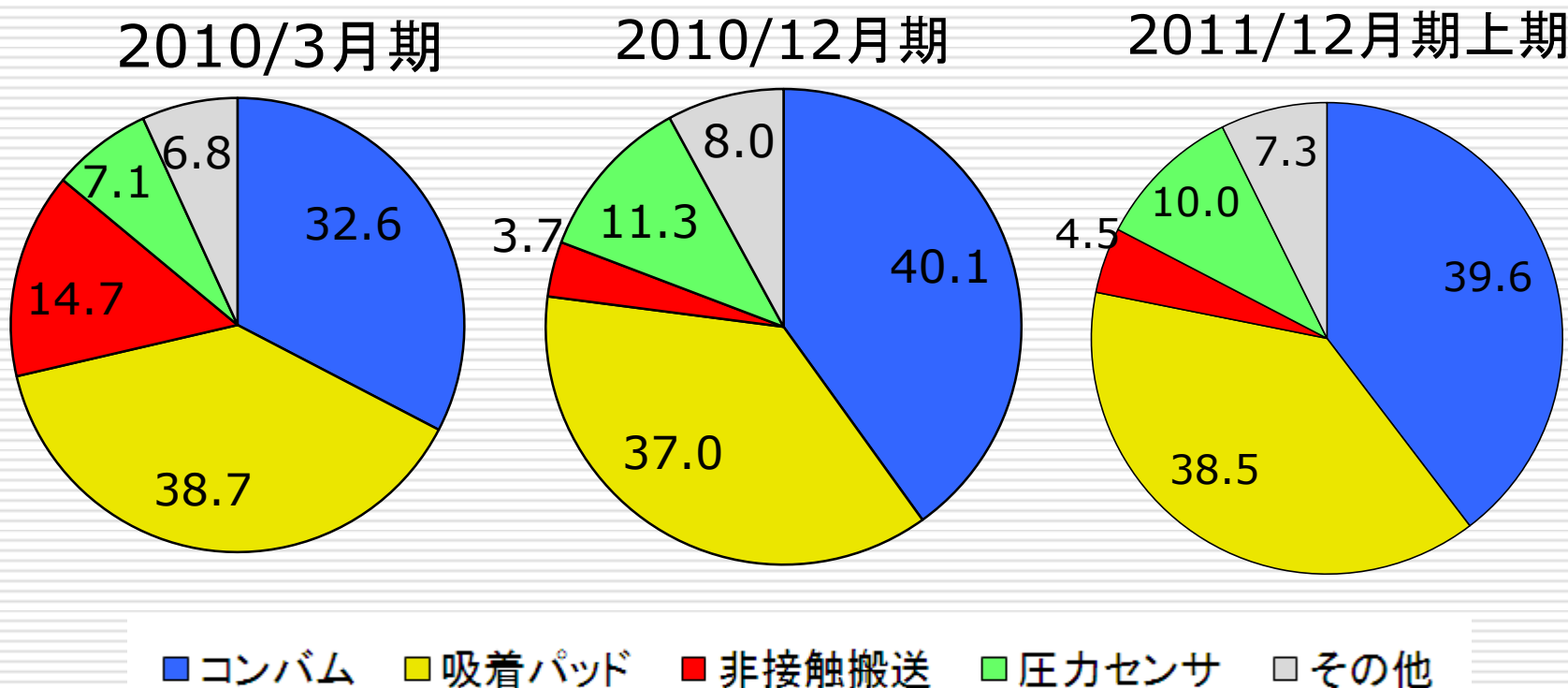
➤ 海外市場は、東アジア地域の需要が堅調に推移



*2010年12月期は決算期変更に伴い9ヶ月間の変則決算となっております。

【2】製品群別売上構成

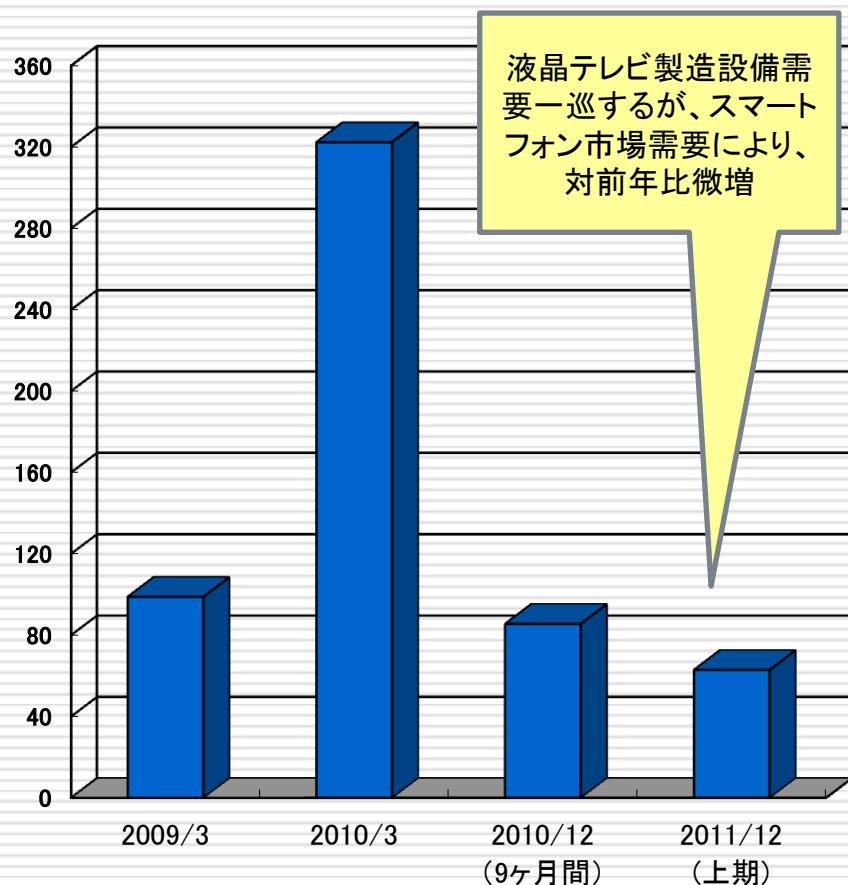
➤ 国内市場減少・海外市場増加により、製品群別売上構成比について大きな変化はなし



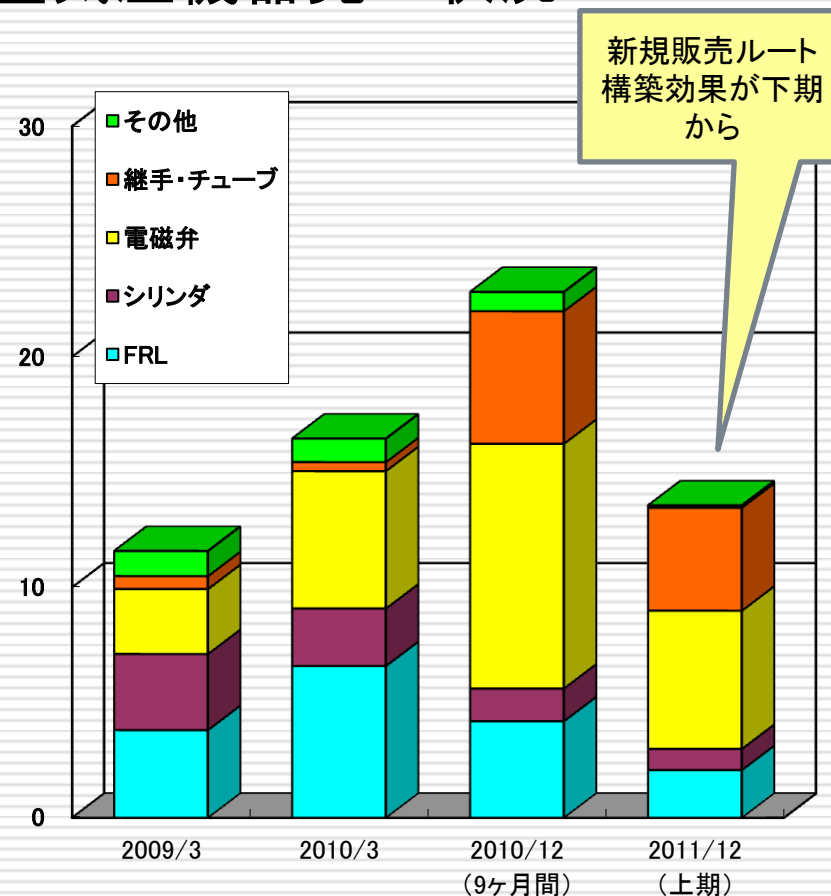
【3】新規事業売上推移

(単位:百万円)

非接触搬送装置売上状況



空気圧機器売上状況



*2010年12月期は決算期変更に伴い9ヶ月間の変則決算となっております。

□ 2011年12月期連結業績見通し

【1】概要

- 国内市場は東日本大震災からの復興需要が見込めるものの、円の独歩高から国内輸出産業の減速と海外生産移管の加速により下振れが懸念される
 - 海外市場も中国をはじめ東アジア市場の景気が減速
 - 海外調達比率拡大、海外子会社での生産拡大など弛まぬコスト削減により利益の確保
 - 市場ニーズに合致した製品開発
 - 事例1.非接触搬送装置のセラミック化・樹脂化
 - 事例2.既存製品の改良及び製品仕様統合
-

【2】2011年12月期 連結業績見通し

(単位:百万円)

	【2010/3】	【2010/12】	【2011/12】
売 上 高	2, 197	2, 326	2, 996
売 上 総 利 益	1, 073	1, 251	1, 559
売上総利益率	48.8%	53.8%	52.0%
営 業 利 益	272	578	640
営業利益率	12.4%	24.8%	21.4%
経 常 利 益	304	564	637
経常利益率	13.8%	24.2%	21.3%
税 金 等 調 整 前	308	553	637
税前利益率	14.0%	23.7%	21.3%
当 期 純 利 益	176	310	374
純利益率	8.0%	13.3%	12.5%

* 2010年12月期は9ヶ月の変則決算となるため、前年比較増減及び前年同期比は記載しておりません。

□ 今後の戦略

中期事業計画(2011年～2013年)の概要

【スローガン】

Ahead Galapagos “弛まぬ進化”

【骨子】

- (1) 真のグローバル・ボーダーレス企業への変身
 - (2) 保有技術を融合した製品開発による
需要創造型ビジネスの拡大
 - (3) 筋肉質な経営体質の実現
 - (4) 企業価値の向上
-

(1) 真のグローバル・ボーダレス企業への変身

①コストメリットを活用した
海外子会社への生産移管
→2011年上期実績
吸着パッド製品の約30%を生産移管

②アジア新興国での販売拡大
CONVUM(Thailand)販売体制強化

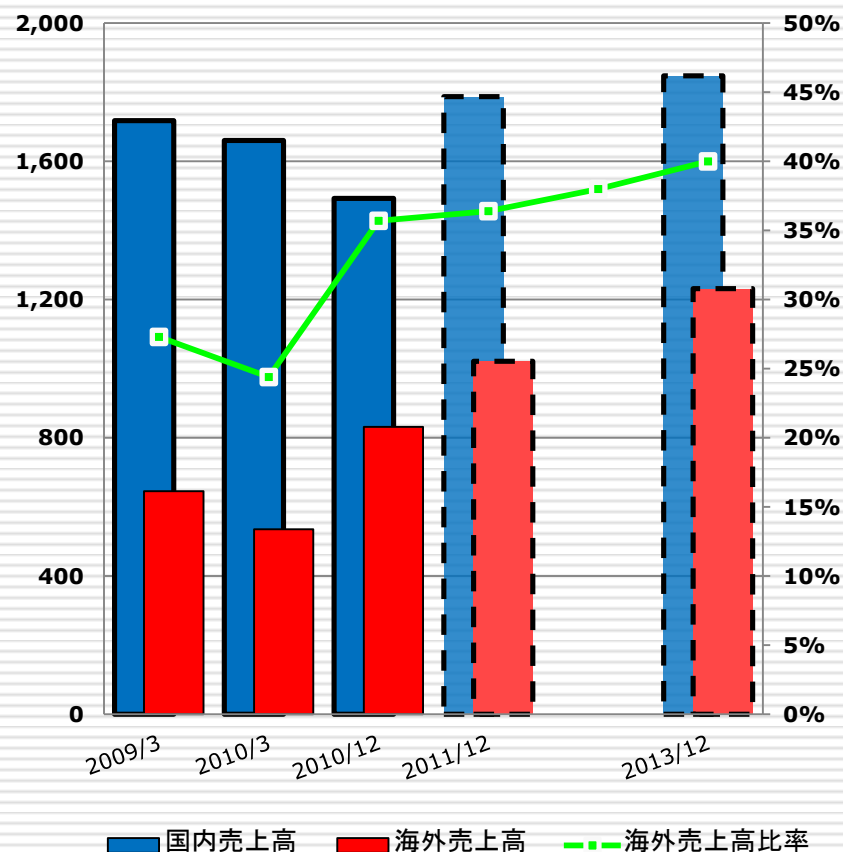
売上高 (千円)	2010年 1~6月	2011年 1~6月	対・前年同期 比
タイ 国内	12,722	14,383	112.6%
タイ 国外	0	25,186	—
合計	12,722	39,570	309.8%

③人材育成強化
海外語学留学制度
外国人を含む積極的な人材採用
→2011年上期実績
海外語学留学 1名
外国人採用 2名

【売上高(百万円)】

売上計画

【海外売上高比率】



(2) 保有技術を融合した製品開発による 需要創造型ビジネスの拡大

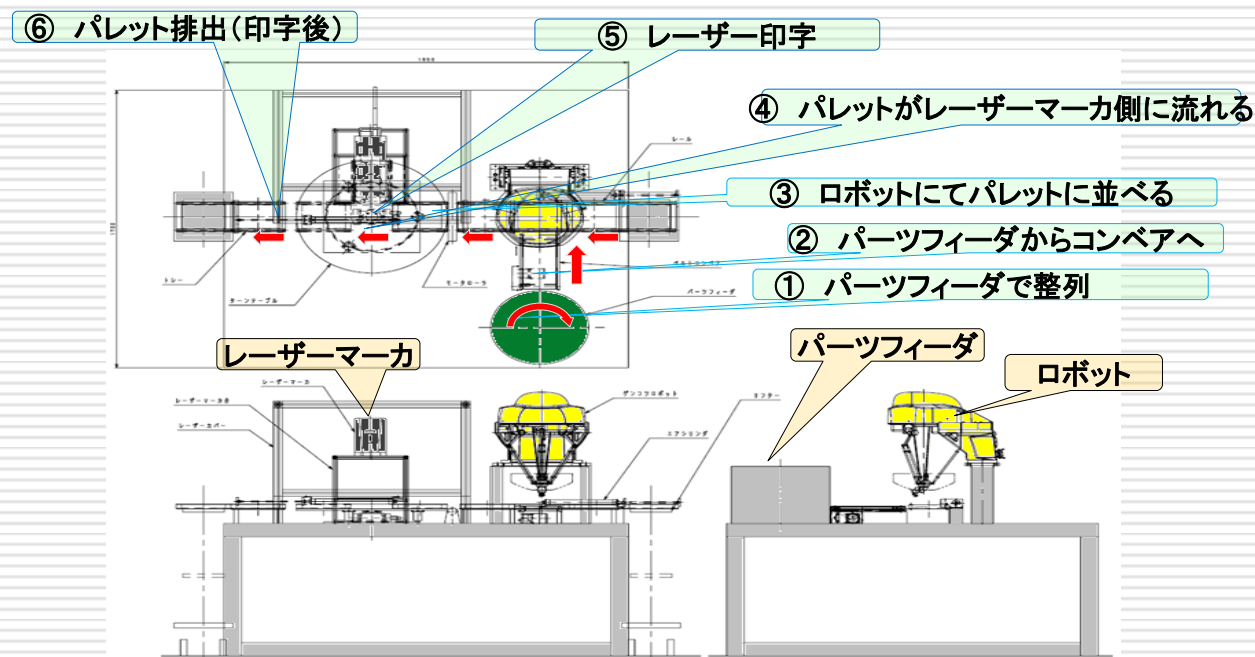
事例1: ロボットを利用したレーザーマーキング装置自動化搬送システム

対象市場: 製造業自動化ライン全般

例: 計測ライン、印字ライン、自動組立ライン 等々

差別化のポイント: 機能の複合化

市場規模: 約1,200億円(2010年)

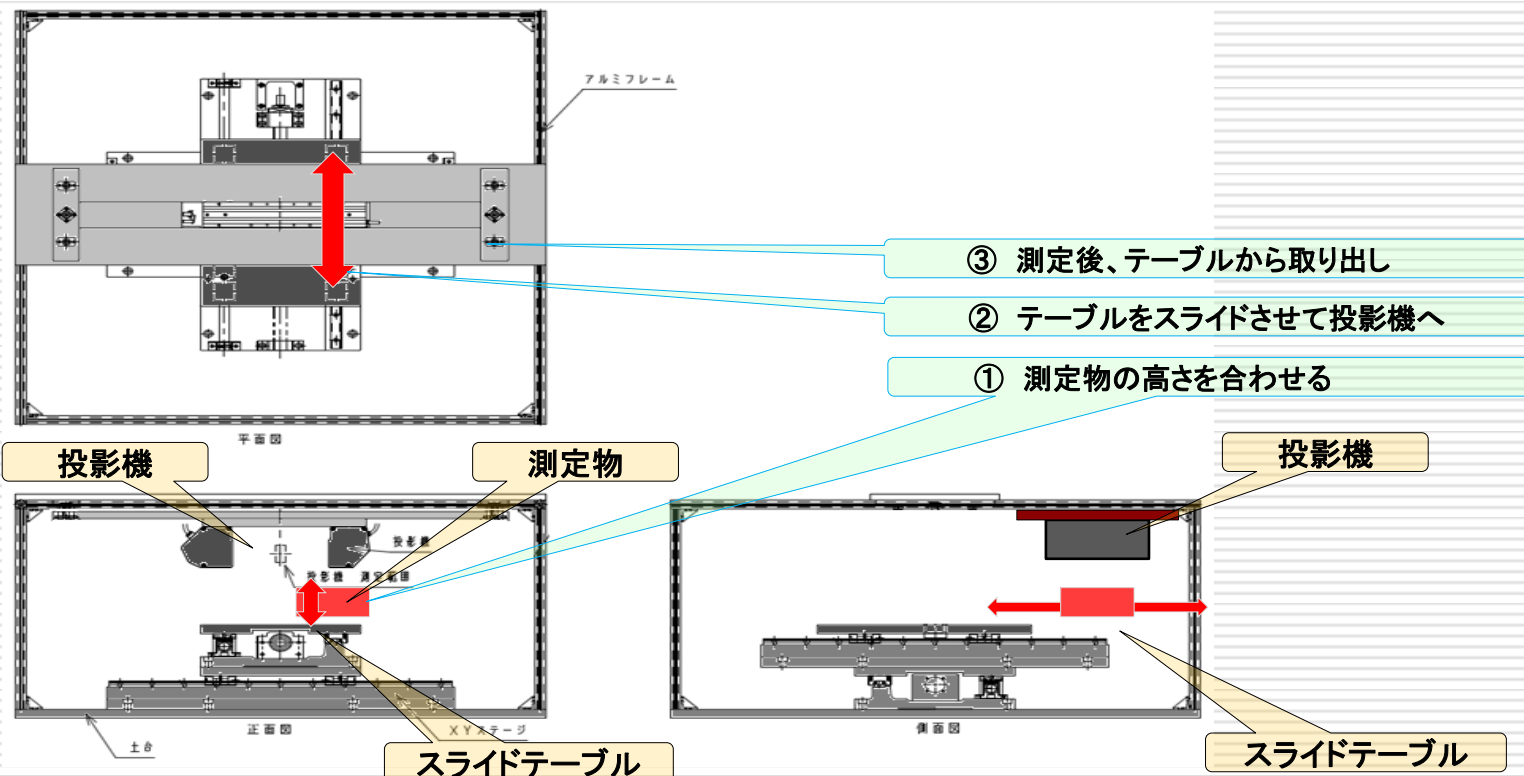


事例2: X-Yテーブルを利用した投影検査装置自動化搬送システム

対象市場: 製造業自動化ライン全般

差別化のポイント: 機能を複合化した搬送システム

市場規模: 約3,000億円(2010年)

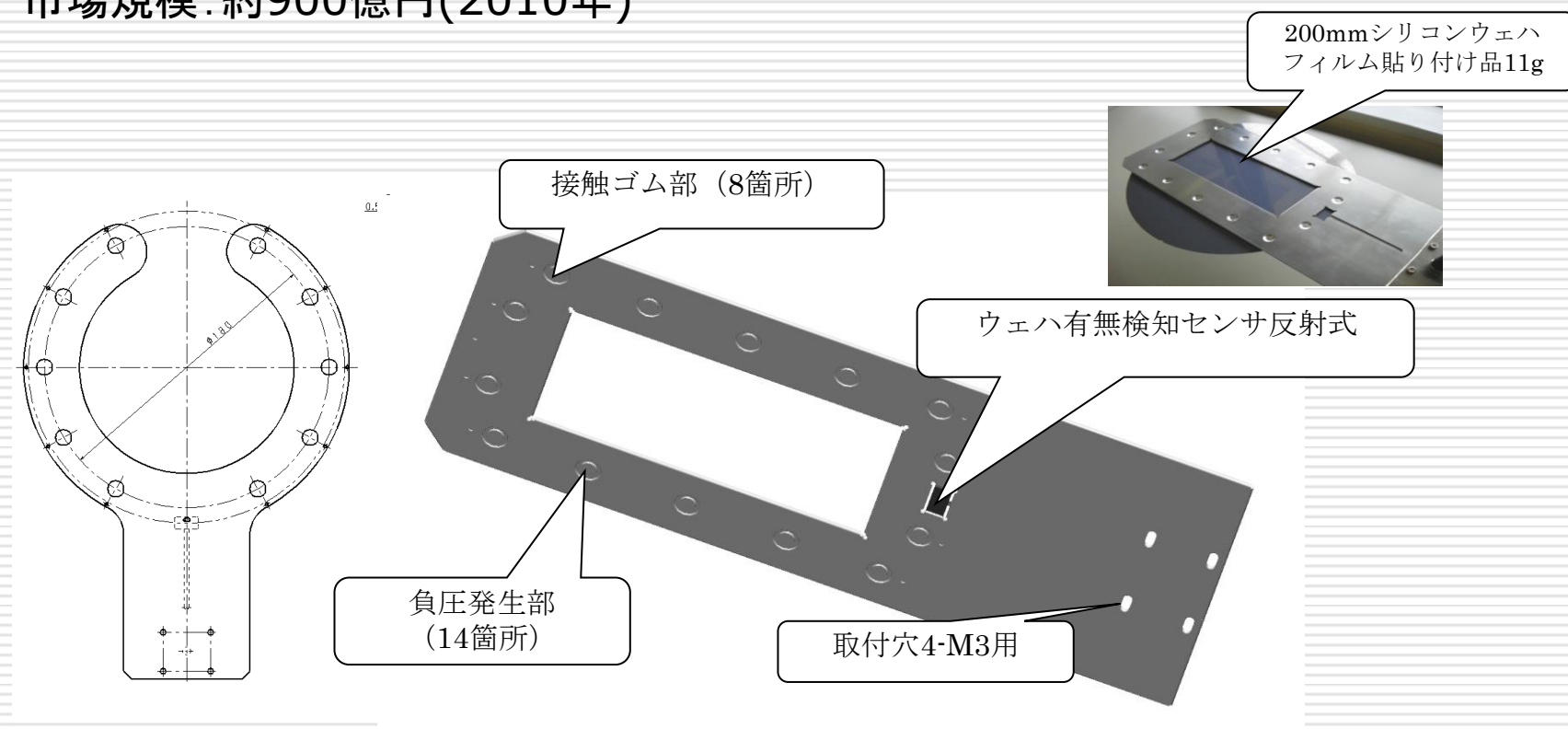


事例3：非接触搬送ハンドリングシステム

対象市場：半導体、ソーラーパネル、薄型ワーク状フィルム製造工程

差別化のポイント：正圧・負圧技術ノウハウの融合

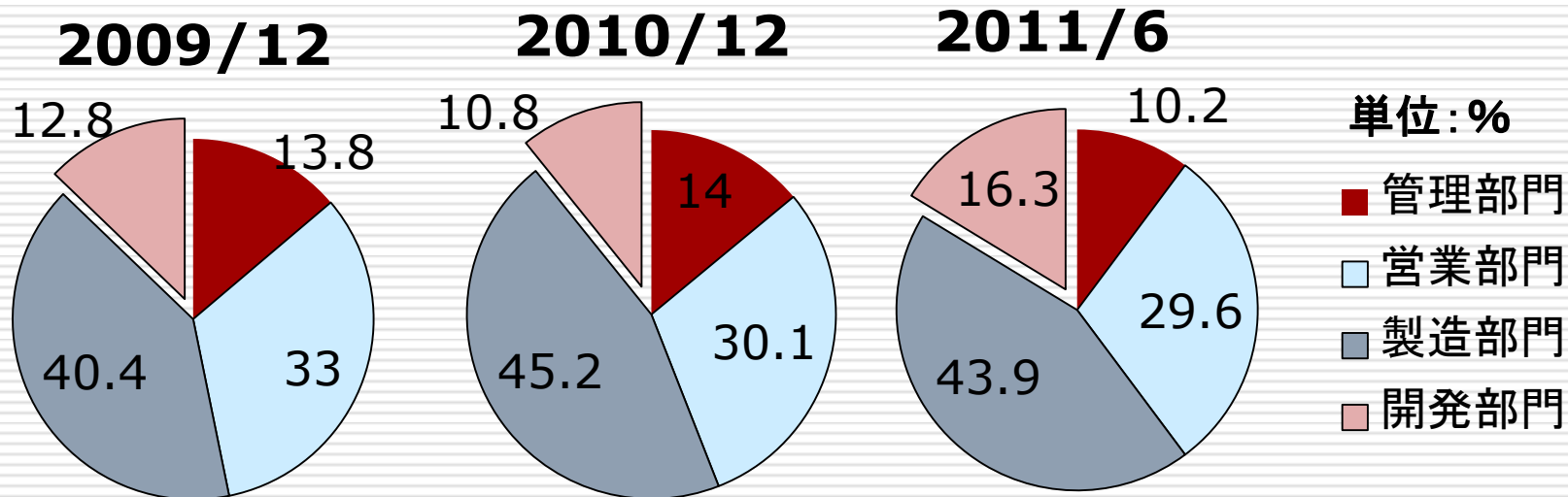
市場規模：約900億円(2010年)



(参考) 単体人員構成推移

➤ 開発部門への人員の配置

人員数	2009/12月		2010/12月		2011/6月	
管理部門	13	13.8%	13	14.0%	10	10.2%
営業部門	31	33.0%	28	30.1%	29	29.6%
製造部門	38	40.4%	42	45.2%	43	43.9%
開発部門	12	12.8%	10	10.8%	16	16.3%
合計	94	—	93	—	98	—



(3) 筋肉質な経営体質の実現

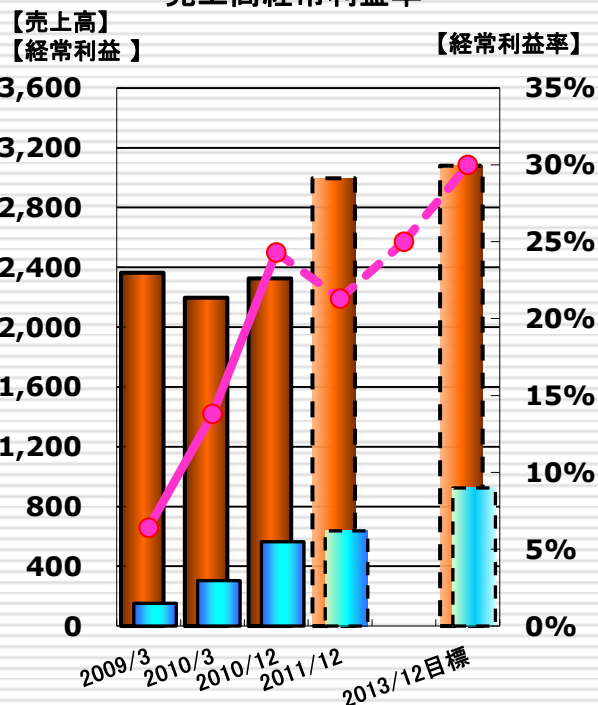
①高収益体質の実現

弛まぬコスト削減、無駄の排除 目標 2013年度売上高経常利益率30%

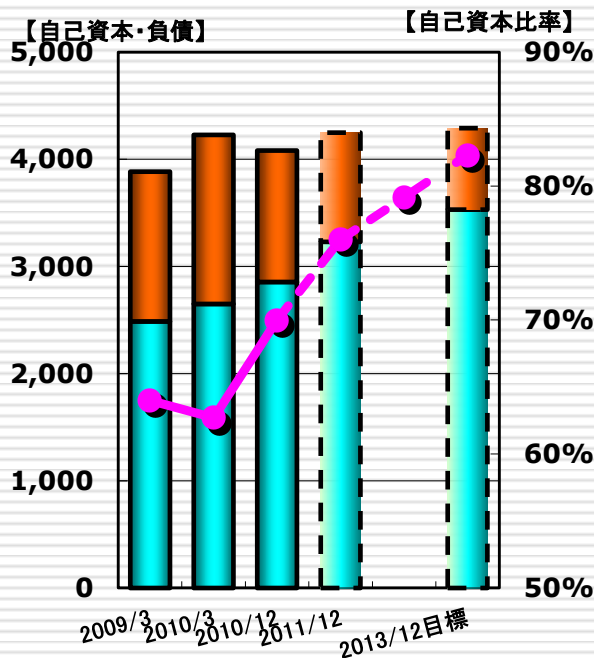
②無借金経営へ 目標2012年度有利子負債ゼロ

(単位:百万円)

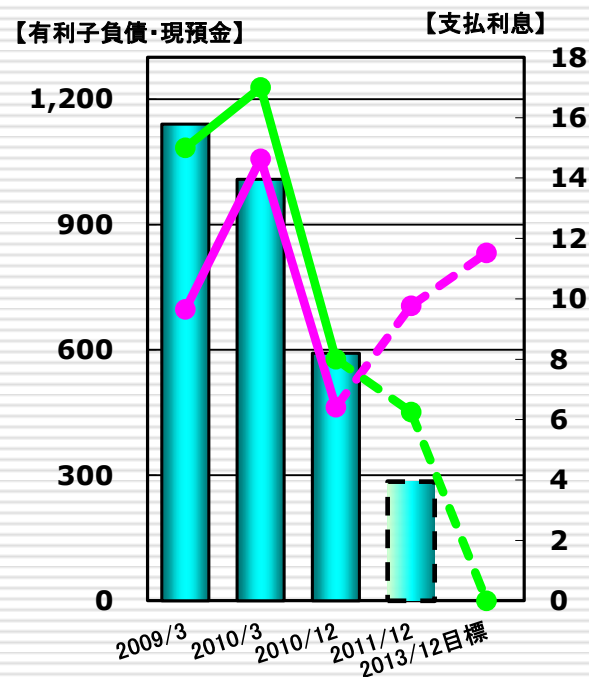
売上高経常利益率



自己資本比率推移



有利子負債推移



売上高 経常利益 経常利益率

自己資本 負債 自己資本比率

有利子負債額 現金預金残高
支払利息

□ 株主還元（配当政策について）

	2009/3月期	2010/3月期	2010/12月期	2011/12月期 (予想)
中間配当	2円	0円	7円	5円 (実施済み)
期末配当	1円	6円 (記念配当1円を含む)	3円	5円
年間配当	3円	6円 (記念配当1円を含む)	10円	10円
当期純利益/株	9円36銭	22円01銭	38円75銭	47円28銭
連結配当性向	32.1%	27.3%	25.8%	21.15%

IR情報に関する問合せ先

【IR統括責任者】

代表取締役社長

中森 俊雄

【お問合せ先】

常務取締役

吉田 清輝

取締役 総務・人事・経営企画担当 大村 晴久

TEL: 03-3759-1491 FAX: 03-5741-7020

E-mail: info@convum.co.jp

また、ホームページでは、会社情報を随時更新しております。

URL: <http://www.convum.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。